

トキ 野生復帰にむけて

46

トキ野生復帰元年記念プレイベントが

開催されました!!

のキンちゃん空を飛ぶ』の著者、新井満さんが日本最後のトキとなったキンちゃんについての講演と朗読を行い、「どんな命も役割があつて生まれてくる。キンちゃんは中国のトキへ命のパトンタッチをするという役割を果たして亡くなった。キンちゃんは佐渡がトキの楽園として再生することを夢見ていると思う」と話されました。



8月10日(日)、アミューズメント佐渡で「トキ野生復帰元年記念プレイベント」が開催され、約700名の方が来場しました。

エントランスでは、トキの野生復帰にむけて活動する活動団体、NPO法人や小中学校の取組みがパネルを使って紹介されました。また、トキ野生復帰シンボルデザインの着ぐるみも登場し、9月25日に行われるトキ試験放鳥に向けて、気運を高めていました。プレイベントの第1部では、『朱鷺



第2部では、島内を拠点に活動する団体がそれぞれ歌と舞を披露し、「女声コーラス新穂」は、トキが再び佐渡の空を舞う様子を歌い、「ジャズダンススタジオPAL」は、数を減らした

トキが再生し、人と共生していくまでを創作舞踊で表現しました。最後に、市長とトキ野生復帰にむけて活動をしているNPO法人トキどき応援団事務局長の仲川純子さんが「市民宣言」を行い、「佐渡に人と生きものが共生する生物多様性の豊かな社会をつくり、かけがえのない美しい星地球の環境づくりのモデルとなること」を誓うと、大きな拍手が会場を包みました。

市役所 トキ共生・環境課

☎63-3113



トキと共に守る自然



～トキ野生復帰ステーションより～

「トキだけじゃない。ぼくたちも巣立ちます」

野生復帰ステーション管理棟の一画で、「順化ケージのトキの繁殖に話題をさらわれたけど、ぼくたちも今年の野生復帰ステーション生まれです。トキのヒナより遅くなったけど、もうじき巣立ちます。」と言っているような光景です。

今年、ツバメが管理棟に巣をかけ、4羽のヒナがかえりました。写真は、巣からはみ出さんばかりに成長したヒナたちです。巣作りの最初の頃は材料の泥がうまく壁にくっつかず、苦勞していた様子でしたが、それを見かねた心優しい職員が木片を壁にくっつけて巣台にしてやったところ、無事完成しました。

撮影から数日後、4羽とも巣立ちました。

